

## 問答形式による、「最終版」作成に向けての重要論点整理

### ⑧ 二つの「倭国」？実は、ここに、その萌芽があった?!

I: さて、またしても、大きな仮説（謎?）が出て来ましたが、その前に、その九州（倭国）との関係とは、一体どういうことになっていますか？

D: まず、これは、『後漢書』や『魏志（倭人伝）』からも明らかなように、北部九州には、当時、いわゆる「倭人諸国（クニ）」があり、中国等へ使いを遣ったりしていました！「奴国」や「伊都国」と呼ばれていた国が、その中心であったことは、まず間違いないでしょうが（57年の奴国王への金印授与等）、遺跡・考古物等からも、北部九州が、逸早く「国（連合）」としての体裁を取り、特に、鉄の入手、分配（販売?）によって、大きな勢威（支配?）を成していたことは明らかです（半島や大陸に最も近いということも有利な条件であった?）！

I: 確かに、それはそうですね！しかし、それと、この「二つの倭国」は、どのようにつながるのですか？

D: そう焦らずに聞いて下さい！私も、自分の（衰えゆく!）記憶力を最大限に駆使して喋ろうとしているわけですから、そうきばきとは答えられません！要は、鉄の支配において、他の地域、例えば「吉備」や「出雲」との関係が微妙に変わっていった?! 多分? 「倭国大乱」（2世紀末）は、そういう状況の中での、各地域、各氏族・勢力の、言わば、生死を賭けた諍いということかと思いますが、とにかく、北部九州の優位（支配?）に、何とか立ち向かおうとする氏族・勢力が、もう一つの「中心」を、近畿・大和に作ろうとした?! だから、そこに、「二つの倭国」の萌芽があった? そういうことです！

I: しかし、ただそれだけであれば、何も、二つの「倭国」ということにはならないのではないですか？

D: そうかもしれませんが、近畿・大和の人達も、明確に、自らの国を「倭国」としているのです！しかも、それを、「倭→大倭→大和→日本」（それらは、すべて「やまと（らつ）」と呼ばれている!）としているのです！したがって、意外と無視されていると言えますが、その「二つの倭国」の可能性（根拠）は、ある意味明瞭なのですか?!

I: 移動している? そして、それは、例の「邪馬台やまと? 国」と関係がある? そういうことですか？

D: 否、それは、今のところ何とも言えません（特に「邪馬台国」に関わっては?）！ただ、近畿・大和の方も、自らを「倭国」と言っているのですから、北部九州の「倭国」と、まったく無関係だとは言えないということです！冷静に捉えれば、彼らも、ある時期に、北部九州（とは限らないが!）から、あるいはそこを経由して、近畿・大和に移動・進出していたことは事実なのです！特に、航海民? 海人族（安曇族等）は、早いうちから、日本海沿岸、あるいは東海、北陸、関東、東北? の方までも、移動・進出（往来?）していたわけですから?!

I: ということは、そうした動きを、改めて丁寧に見ていけば、それこそ真実が見えてくるということですか?!

D: とにかく、先程の話に戻れば、北部九州と、その他の地域の人々（ただし、彼らは、すべて倭人集団ではあった!）が、主として鉄の支配を巡って、二つに割れた! そして、その後者の集団の主力（中心?）が、北部九州と地理的に近い「吉備」と「出雲」であった?! そして、さらに、その経過の中で、多分? 「出雲」が、守旧派（北部九州寄り→「出雲振根いづもふるね」に投影?）と新勢力派（吉備寄り→「飯入根いひいりね」に投影?）に分かれた?! 大胆な仮説? とすれば、後者は、攻めよって来た「吉備」と組んだ? あるいは、そこに攻め込まれて踵を返した? その連合勢力が、まさに「吉備・出雲連合?」という形で、近畿・大和に移動し、最初の「大和王権」を確立した?!

I: それが、例の「（出雲の）国譲り」、そして「天孫降臨」の物語となった? そういうことですか?!

D: ほとんど珍説（奇説?）と言われるかもしれませんが、まさにそのように見ると、その後の近畿・大和の史実? が、よく理解されるということですか?!

I: ここで思い出しましたが、もし、そうだとしたら、例の「前方後方墳」勢力と「前方後円墳」勢力の関係は、どうなるのでしょうか?!

D: その辺も、なかなか難しいのですが、確か「前方後方墳」は、最初「近江」に生まれ、まずは「東海」、さらには「関東」辺りまで広がったとされているようです！それについては、「記紀」の崇神期に記されている「四道將軍の全国派遣?」と関係してくると思われませんが、その中の一人「大彦（第8代孝元天皇の子、安倍氏等の祖）」の動きと関係している?! すなわち、彼は、おそらく日本海回りの出雲勢力?、否、件の「吉備・出雲連合?」勢力と思われませんが、彼が、その「前方後方墳」の勢力であった?! ちなみに、その息子とされる「武渟川別たけぬかのみつね」の動きは、太平洋回りの「吉備・出雲連合?」勢力の動きを投影したものと思われる?!

I: では、もう一方の「前方後円墳」の勢力は、どのような関係となりますか?!

D: 実は、その「前方後円墳」は、先行の? 「前方後方墳」と、いわゆる「円墳」が融合? されたものと考えられますが、多分? それは、大和で発生したもの（北部九州の「津古生掛古墳」が、一番古いという情報もあるが?）?! そして、その「前方後方墳」は、何故か? 例の「尾張氏」の象徴とも考えられ、「円墳」は、「物部氏」の象徴とも考えられます?! その辺りからも、関係氏族・勢力の動きや出自等が解明できるのではないのでしょうか?!